６　郡市活動報告

玉名荒尾中体研

理事長　　酒井　剛

１　はじめに

玉名荒尾中体研は、杉本三郎校長（荒尾第四中学校）を中心に玉名１３校、荒尾３校の体育担当者で組織されている。本年度の研究テーマは、「積極的に運動に親しみ、活力のある児童生徒を育成する保健体育学習のあり方」～体力・運動面での小・中の滑らかな接続をめざして～とし、今年度は、小学校と連携し、９年間を見通したバランスの良い体力づくりのための取り組みを行った。

２　研究テーマ

「積極的に運動に親しみ、活力のある児童生徒を育成する保健体育学習のあり方」
～体力・運動面での小・中の滑らかな接続をめざして～

３　研究内容

○　各校区で体力に関する実態調査
○　各校区での小・中連携協議の実施
○　体力向上のための教材・教具の開発
○　実技研修会の実施
○　授業研究会の実施

４　研究組織

会　長・・・杉本三郎
副会長・・・中山直幸
　　草場博志
理事長・・・酒井　剛

会長・副会長

≪　委員会　≫
研究理事長・理事
各研究部長

A 玉名市 北ブロック	B 玉名市 南ブロック	C 玉名郡 ブロック	D 荒尾市 ブロック
◎中村（玉陵） ○境（玉高附属） 青山・井出 藤原・牛島	◎山科（有明） ○今田（天水） 松野・酒井 野間・村上 杉本	◎土田（腹栄） ○鳩野（玉東） 船津・三川 大山・松尾	◎右田（荒尾海陽） ○井本（荒尾四） 久家・福田 吉坂・中道 坂井・早野

５　活動状況

◎　４月２８日（木）　【教育会教科等全体会（中学校保健体育）】
《内容》　研究テーマの確認及び年間計画、各グループの活動・研究内容検討

◎　７月２７日（水）　【第１回研究委員会】
《内容》　各グループの進捗状況確認及び教科等研修会の内容についての検討

◎　７月２９日（金）　【県中体研夏期研修会】（菊陽町）　※１名参加

◎　８月２４日（水）　【第１回教科等研修会（半日研）】
《内容》　講話・実技「コオーディネーショントレーニング」：天水中学校多目的ホール
講師：熊本健康・体力づくりセンター　大崎　暢夫　さん
※　熊本機能病院熊本健康・体力づくりセンター健康科学トレーナーである大崎暢夫さんにコオーディネーショントレーニングの基礎や中学生期の傷害の防止について講習をしていただいた。座学、実技ととても有意義な講習であった。

◎１１月１０日（木）　【第２回委員会】
《内容》　第２回教科等研修会（半日研）内容確認及び指導案検討会

◎１１月２２日（火）　【第２回教科等研修会（半日研）】
《内容》　公開授業　球技　ゴール型「タグラグビー」　会場：荒尾第四中学校
授業者：荒尾第四中学校　井本　賢吾　教諭

授業研究会・研究協議
※　３年生球技選択「タグラグビー」の授業を公開していただいた。2019 年Ｗ杯熊本県開催、荒尾市の地域性を踏まえ、他校ではほとんど実施していない種目に挑戦していただき、大変参考になるものだった。男女共習で球技が苦手な生徒への配慮もされており、活動している生徒は和気藹々とした雰囲気だった。授業研究会ではワークショップ形式を取り入れ、より活発な協議となった。

◎１１月２５日（金）【熊本県学校体育研究大会】（菊池市）　※１５名参加
《内容》　研究発表、講演、公開授業、授業研究会

６　まとめ
近年、中学生の大きな課題であると感じていた新入生の体力や基礎技能について、各中学校区で小中連携しての協議や実践を行ったことで、教員の体力向上に対する意識が向上した。さらに、小中連携を深めるため、互いの実技研修会に参加し交流することができた。来年度は、さらにこの取り組みを進め、９年間を見通した適切な運動の量と質を考えていきたい。そのためにはまず、体力テストを各校区毎にしっかり分析し、経年変化を調べ、成果と課題の検証が必要である。